

ごみ処理施設整備

ニュース

平成29年9月

第2号

ごみ処理施設整備運営事業の 住民説明会を行います

桑名広域清掃事業組合では、平成32年1月稼動に向けて、リサイクルの森の敷地内に、桑名市、木曾岬町、東員町のごみを処理する新たな施設の整備を進めています。

現在、ごみ処理施設の設計を行っており、設計が完了しだいで建設工事に着手する予定です。つきましては、管内の住民及び事業所の皆様にごみ処理施設整備運営事業へのご理解とご協力をいただきたく、説明会を開催いたします。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

- ① 9月23日(祝)午後2時 桑名市大山田コミュニティプラザ
- ② 9月24日(日)午後2時 木曾岬町ふるさと創生ホール
- ③ 10月1日(日)午後2時 東員町保健福祉センター

いずれの会場でもご参加いただけますので、ご都合のつく会場へお越しください。また、自治会や団体等のグループで、説明会を希望される場合は、お気軽にお問い合わせください。

(お問い合わせ先は4ページをご覧ください。)

住民
説明会の
ご案内



| | |
|----|----------------------------|
| 目次 | ●ごみ処理施設整備の基本コンセプト……………2 |
| | ●ごみ処理施設整備運営事業の契約を締結しました… 3 |
| | ●可燃ごみ焼却施設の施設概要……………4 |

ごみ処理施設整備の基本コンセプト

地域住民の皆さんに親しまれる施設となることを目指し、ごみ処理施設の整備における基本コンセプトを策定しました。今回は、安全・安心で信頼される施設をご説明しました。

今回は、地球環境に配慮した施設と未利用エネルギーの有効活用をご説明します。



地球環境に配慮した施設を目指して

具体的には

- 最新の排ガス処理設備を設置することで、ごみを燃やすことによって発生する有害なガス(ダイオキシン類をはじめとする大気汚染物質)を処理し、法令等規制値よりもさらに厳しい組合管理値を下回るように適切に管理します。

主な大気汚染物質の規制値、管理値

| 大気汚染物質 | 単位 | 法令等規制値 | 組合管理値 |
|---------|------------------------|--------|-------|
| ダイオキシン類 | ng-TEQ/Nm ³ | 1 | 0.1 |
| ばいじん | g/Nm ³ | 0.08 | 0.01 |
| 硫黄酸化物 | ppm | 約2,800 | 20 |
| 窒素酸化物 | ppm | 250 | 50 |
| 塩化水素 | ppm | 約430 | 30 |

- ごみ処理で使用した水は、施設内で再利用し、外部へは排水しません。
- 適切な建屋配置、設備とすることで騒音・振動を抑えます。
- 建屋の気密性を高めたり、ごみピット内の空気を炉内に吸い込み高温で燃やすことによって、悪臭を防ぎます。
- ごみを燃やしたあとに残る灰は100%セメント原料として利用します。
- 雨水を貯留し、緑地の散水に利用します。



未利用エネルギーの有効活用を目指して

具体的には

- ごみを燃やすと高温の熱が発生します。その熱を利用して作った蒸気を使って、高効率の蒸気タービン発電機で発電し、売電します。発電機の能力は3,080kWで、一般家庭の約7,000軒分の電力に相当します。
- 施設の屋根の空きスペースに太陽光パネルを設置し発電します。

次回は経済性に優れた施設と地域に親しまれる施設をご説明します。

※右の写真は参考写真です。実際に設置されるものとは異なる場合があります。

蒸気タービン発電機



太陽光パネル



ごみ処理施設整備運営事業の 契約を締結しました



平成29年5月26日に締結したごみ処理施設整備運営事業の契約内容は次のとおりです。

事業内容

- ①可燃ごみ焼却施設の設計・建設
- ②可燃ごみ焼却施設のほか既存の不燃・粗大ごみ処理施設(リサイクルプラザ)、プラスチック圧縮梱包施設の管理運営(20年間)

契約総額

23,097,424,137円(消費税込み)
 (内訳) ①設計・建設費 12,796,920,000円
 ②管理運営費 10,300,504,137円

事業者

この事業は、新施設の設計・建設、施設全体の管理運営、灰の資源化など多岐にわたる業務や長期にわたる管理運営を行うため、次の複数の事業者と一括して契約しました。

- 荏原環境プラント株式会社中部支店(プラント設計・建設)
- 大成建設株式会社名古屋支店(建屋設計) ●大成建設株式会社三重営業所(建屋建設)
- エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社(灰運搬) ●太平洋セメント株式会社中部北陸支店(灰資源化)
- 三重中央開発株式会社(不燃残渣運搬、不燃残渣処分) ●株式会社くわなEサービス(管理運営)

事業期間

| 平成29年度 | 平成30年度 | 平成31年度 | 平成32年度 | 平成33年度 | ... | 平成51年度 |
|-------------------------------|--------|--------|----------------------------------|--------|-----|--------|
| 設計・建設期間 H29.5.26~H31.12.31 | | | 管理運営期間(20年) H32.1.1~H51.12.31 | | | |

※可燃ごみ焼却施設の完成は、第1号(平成29年3月)でお知らせした当初計画では平成33年3月でしたが、事業者の提案により設計・建設期間が15ヶ月短縮され、平成31年12月となりました。そのため、この事業における施設の管理運営期間は平成32年1月から20年間となりました。





可燃ごみ焼却施設の施設概要



稼働開始

平成32年1月の予定です。

構造

鉄骨鉄筋コンクリート造/鉄筋コンクリート造/
鉄骨造(地上6階建て)です。
※詳細は設計中です。



処理能力

174t/日(87t/日×2炉)です。
※人口推計から予測した施設稼働時の可燃ごみ量(163t/日)と
災害廃棄物の一部処理量(11t/日)を見込んだ値です。

処理方式

ストーカ式焼却方式です。
※市・町が設置する可燃ごみ焼却施設の中で最も普及している
方式で、安定性、安全性が高く技術的に確立されています。
国内施設のうち約70%がこの方式です。

余熱利用

発電に利用します。
※年間発電量の約60%を売電する予定です。

灰処理

100%資源化します。
※ごみを燃やしたあとに残る灰は、セメントの原料として利用します。

【詳細は桑名広域清掃事業組合ホームページをご覧ください】

<http://www.recycle-mori.jp/>

トップページ > ごみ処理施設整備運営事業(画面右側)



発行・お問い合わせ先:桑名広域清掃事業組合事務局建設準備室(リサイクルの森) Tel.0594-31-8880

